

Cumulative List of the Otsuma Review Articles Numbers 41-50

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-08-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [大妻女子大学英文学会] メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/6489

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



『大妻レビュー』 41 号～ 50 号掲載論文

第 41 号 (平成 20 年)

〔論文〕

- Tomohisa Hirose Investigations into Romantic Ideas III
 米 塚 真 治 「郊外化」を脱構築する——ジョン・チーヴァー「橋の上の天使」
 河 野 武 倒置感嘆文のモダリティ (続き)
 村 上 丘 尺八と口伝 (その壺)
 伊 東 武 彦 *TOTORO* にみる日英語不対応

〔大学院生研究論文〕

- 大 木 ゆ み 平和を信じた男——ジョージ・オーウェル

〔卒業論文要旨〕

- 堀 内 愛 里 『お気に召すまま』における二人のジェークイズ
 里 見 有 麻 チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』の研究
 ——〈クリスマスの幽霊〉の童話性——
 清 水 恵 生と死をめぐる諷刺的見解——『囁きの霊園』研究——
 瀬 古 有 衣 ヒッチコック映画における翻案
 北 澤 尚 子 ウィリアム・ゴールディングの人間観
 岩 淵 瑠衣子 拓かれた知能と心
 ——『アルジャーノンに花束を』研究——
 松 本 怜 子 トニ・モリスン『ピラヴド』における愛
 外 山 恵美子 英語のことわざ
 山 崎 敦 子 英語のオノマトペ
 雨 宮 侑 子 程度副詞について
 宮 川 由圭里 much について
 横 倉 美 央 ‘Interesting’ ‘Funny’ ‘Exciting’ の使い分けにおける日本人英語学習者と英語母語話者の相違
 小 蘭 美 紀 ターン・テークングにおける日本語話者と英語話者の相違

[短大卒業論文要旨]

- 美濃谷 希 Wordsworth と捨てられたインディアン女
 小林 加奈恵 『トム・ソーヤーの冒険』——マーク・トウェインと 2
 人の少年たち——
 栢 山 妹 ノアとシラス——色素欠乏症の存在——
 畑 麻 美 『赤毛のアン』——作家と作品を考える——
 藤 田 絵 梨 ショパンの音楽とポーランド
 土 子 由 貴 ガウディのメッセージ——サグラダ・ファミリア教会
 をめぐって——

第 42 号 (平成 21 年)

[論文]

- 兵 頭 晴 子 映画『逢い引き』の構造
 坂 口 明 徳 續・Ryder の行方——カズオ・イシグロ「日の暮れた村」
 考——
 山 名 章 二 翻訳 スザン・グラスペル作「女仲間の評決」(その 1)
 河 野 武 倒置感嘆文における ever の位置づけ
 村 上 丘 語形変化と統語範疇
 伊 東 武 彦 異文化間コミュニケーション・トピックのカテゴリー化

[修士論文要旨]

- 倉 澤 深 雪 『トムは真夜中の庭で』における永遠——時間・夢・霊
 Yui Kawakami The Stress Variations of Auxiliaries and the Copula BE

[卒業論文要旨]

- 金 子 麻 衣 『真夏の夜の夢』における父性原理と母性原理
 山 倉 志 帆 幸福なロビンソン
 木 村 理 恵 舞踏会と『高慢と偏見』
 柳 田 裕 美 『ドラキュラ』——ヴィクトリア時代の闇
 清 水 由香梨 『くまのプーさん』におけるイギリス的ユーモア
 長 坂 里 美 テネシー・ウィリアムズ作『ガラスの動物園』における
 トムの罪悪感
 清水口 晶 子 無垢と罪悪感——トルーマン・カポーティの中の子供

- 佐 藤 恵梨子 奴隷制へのタイムトラベル——オクティヴィア・バトラー『キンドレッド』研究
- 菊 地 真 由 アリス・ウォーカー『カラーパープル』における差別からの脱却
- 勝 部 愛 美 程度副詞 so と very について
- 桑 尾 めぐみ 英会話能力と英語学習方法との相関関係
- 高 田 桃 香 日本人英語学習者の発表語彙力と会話力の相関関係
- 谷田部 由利香 日本語話者と英語話者のコンテキストへの依存度比較
- [短大卒業論文要旨]**
- 廣 田 亜紗美 『不思議の国のアリス』のマッド・ティーパーティー
- 岡 田 翠 『ピーター・パンとウェンディ』の世界
- 野 口 愛 実 『ハックルベリ・フィンの冒険』を考える
- 土 井 香 澄 産業革命とイングランド銀行

第 43 号 (平成 22 年)

[論文]

- Tomohisa Hirose Investigations into Romantic Ideas IV
- 山 名 章 二 翻訳 スザン・グラスペル作「女仲間の評決」(その 2)
- 米 塚 真 治 アメリカ西部開拓における個人と企業
- 村 上 丘 尺八と口伝 (その 弐)
- Ken Ikeda Transcription Accuracy Vis-à-vis Presentation of Second Language Users' Utterances
- 伊 東 武 彦 コンテキストを伴う文法学習

[修士論文要旨]

- Akari Aoyagi Language Functions in English Textbooks for Elementary Schools

[卒業論文要旨]

- 中小原 恵 『失楽園』研究——光の喪失と救済
- 吉 田 かおり オスカー・ワイルドの『サロメ』
- 丸 山 真 由 闇に囚われた女たち——「黄色い壁紙」における女・狂気・社会

- 米 田 美 里 トルーマン・カポーティの作品における孤独と葛藤
 深 谷 奈緒美 『フラニーとゾーイー』におけるフラニーのエゴからの脱却
- 横 須 さおり ボール・オースター作『幻影の書』における幻影研究
 小久保 美 幸 『源氏物語』英訳本の比較
 柿 崎 彩 程度副詞 so と such
 越 田 麗 菜 否定対極表現
 小 峰 光 絵 英語使用時の人格変容に及ぼすステレオタイプの影響

[短大卒業論文要旨]

- 岩 楯 浩 美 ロマン派から見える子ども像
 伊 藤 成 美 『クリスマス・キャロル』を読む
 秋 野 寛 代 『ジークル博士とハイド氏』にみる人間の弱さについて
 増 渕 千 仁 世紀末ドイツ——ルートヴィヒ2世をめぐって——

第 44 号 (平成 23 年)

[論文]

- Tomohisa Hirose Investigations into Romantic Ideas V
 村 上 丘 英語に前置詞は必要か？
 新 谷 敬 人 児童英語教師に必要な英語発音の知識と技能
 伊 東 武 彦 日米映画スクリプトのターン・テーク比較分析
 Ken Ikeda Eyeing, Adapting Diversity Training Activities to Japanese Settings
 Gordon Liversidge Curriculum and ICT Change in Australian Schools

[博士論文要旨]

- Yumi Ohki The Road to the Golden Country: George Orwell on Peace and War

[修士論文要旨]

- 林 清 ウィニー・ザ・プーとパディントン・ベア —— 20 世紀イギリス児童文学における 2 匹のクマ
 岡 田 江 美 『顔を持つまで』の研究
 Manami Katsube Collocational Patterns of Degree Adverbs in English

- 藤 吉 良 子 英語の行為指示型発話の機能
 山 本 茜 英語の垣根表現の語用論的性質
 [卒業論文要旨]
 野 崎 小百合 『お気に召すまま』における女性役を演じる少年俳優と異性装
 小 田 麻友美 『自負と偏見』からみるジェイン・オースティンの結婚観
 近 納 真 未 『ジェイン・エア』研究——シャーロット・ブロンテの父の影——
 鶴 岡 友里江 『嵐が丘』におけるキャサリンとヒースクリフの関係
 丸 山 佳 織 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作品における色とシンボル
 前 川 知 美 フィッツジェラルドの作品における水のイメージラリー
 三 浦 麻 依 トルーマン・カポーティの『遠い声 遠い部屋』におけるジョエルの依存と自立
 市 川 春 奈 無意味な決断？
 ——『セールスマンの死』における生と死——
 加 藤 明日香 ジェイムズ・ボールドウィン『もう一つの国』におけるそれぞれの「国」
 加 藤 舞 子 トニ・モリスン『ピラヴィッド』における孤立と母性
 齋 藤 恵 実 付加疑問文の機能とイントネーション
 品 川 明 里 英語のトートロジー
 河 内 直 子 How 疑問文と What...like 疑問文の比較
 渡 辺 悠 英語における形容詞の文型
 瓜 田 桃 子 間接的表現の使用における日米男女比較
 Hanae Saito The Changing of the Existence and Significance of Japanese Towns in America
 [短大卒業論文要旨]
 稲 岡 優美子 『時の旅人』——「物語の紡ぎ手」の生涯と作品——
 川 名 友里絵 『風と共に去りぬ』——スカーレット・オハラ of 生涯に南北戦争がもたらしたもの——
 片 原 涼 華 マージョリー・ウェインマン・シャーマット『めいたんていネートとしめっぽいバレンタイン』翻訳

- 北 村 ゆ い 女性差別を示唆するとされる語の日英語比較
 田 村 遥 香 キリスト教の伝播と迫害

第 45 号 (平成 24 年)

〔論文〕

- Tomohisa Hirose Investigations into Romantic Ideas VI
 田 代 尚 路 ホイットマン経由でテニスンを読む
 坂 口 明 徳 消された泣き顔——映画『日の名残り』考
 小 林 昌 夫 音の意味——吃音表象をめぐる①
 村 上 丘 文法範疇交替モデルの構築に向けて (1)
 Ken Ikeda Analyzing Interaction Discourse in a 'Failed' Interview

〔修士論文要旨〕

- 大 森 由 貴 『ヴェローナの二紳士』における手紙
 中小原 恵 『失樂園』とミルトンの宇宙世界
 中 村 瞳 英語の感嘆文の語用論的性質

〔卒業論文要旨〕

- 鈴 木 詩 織 ケルト文化からみた『アーサー王物語』研究
 中 村 梨 沙 『ロミオとジュリエット』におけるイメージの効果
 菅 原 聡 恵 『ハリー・ポッター』シリーズにおけるふくろうの役割
 近 藤 祐 紀 『真珠の耳飾りの少女』論——秘められた真実
 小 池 礼 恵 エドガー・アラン・ポーの作品における人種差別について
 古 川 萌 子 ガヴァネスと狂気——ヘンリー・ジェイムズ『ねじの
 回転』に見るヴィクトリア朝女性について
 横 山 晃 子 アーサー・ミラー作『セールスマンの死』におけるアメ
 リカン・ドリーム研究
 木 村 文 香 「声」なき者の「声」——アリス・ウォーカー『カラーパー
 プル』における黒人女性たちの語り——
 本 多 絢 香 過去から現在へ——ファニー・フラッグ『フライド・
 グリーン・トマト』における「越境性」とそのフェミ
 ニズム的可能性——
 宇 梶 友 香 強意・焦点化副詞 just

- 荻原綾子 談話標識 you know について
 角田圭衣 日本人英語学習者による英語の歌の歌唱——歌詞とメロディの対応関係の分析
 浅井彩 リスニングに及ぼすシャドーイングのウォームアップ効果
 中畔妃果梨 ジャーナル・ライティングが発表語彙力の増加に及ぼす効果
 Chiaki Sawahata The Factors of Appearance Which Influence Identity of Hapa People
 [短大卒業論文要旨]
 内田彩香 北欧神話——全てを繋ぐユグドラシル——
 山口実里 『ジキル博士とハイド氏』から見る善と悪
 今井香澄 『ホビットの冒険』にみるトールキンのファンタジー観
 鈴木千裕 『床下の小人たち』
 斎藤礼子 ハンフリー・カーペンター著 マジック先生シリーズ 10 『マジック先生と遠足』 翻訳 (抄録)

第 46 号 (平成 25 年)

[論文]

- Tomohisa Hirose Investigations into Romantic Ideas VII
 田代尚路 テニスン『イン・メモリアム』における見ることと触ること
 坂口明德 1980 年代のイギリス映画
 河野武 「のだ」の本性は真偽性・関連性モダリティなのだ
 村上丘 文法範疇交替モデルの構築に向けて (2)
 Ken Ikeda Language Learning Strategies Use of 4th-year University Students Betwixt Job Hunting and Graduation Thesis Preparation
 伊東武彦 多文化都市ロンドンのサマー・リーディング・チャレンジ
 [修士論文要旨]
 小菅奈保子 『テンペスト』研究——キャリバンの表象を中心に

[卒業論文要旨]

- 白 垣 有理加 『から騒ぎ』における〈噂〉
- 佐 藤 千 春 『ハムレット』における情報伝達を担う登場人物
- 富 澤 彩 『ウィンザーの陽気な女房たち』研究
- 山 崎 彩 可 ルイス・キャロルのアリスの理想化について
- 川 島 範 子 『幸福な王子』に見るワイルドの世界——作者が伝えたかった美学
- 勝 田 絵莉子 『蠅の王』における蠅の王
- 吉 田 奈 穂 葛藤する人間像——ハーマン・メルヴィル「バトルビー」試論
- 市 川 明日美 「神」と「地平線」の対称——ゾラ・ニール・ハーストン『彼らの目は神を見ていた』における黒人女性の自己解放——
- 木 村 彩 美 殺人という創造——リチャード・ライト『アメリカの息子』における白人社会への抗議——
- 小 池 あずさ 『やけたトタン屋根の上の猫』に見る異性間結婚の泥沼
- 鈴 木 摩 耶 It 分裂文と wh 分裂文
- 中 田 詩 織 英語母語話者が正確に発音できる日本人の名前とはどのようなものか
- 加 藤 晴 香 垣根表現
- 徳 野 瑞 季 留学生が体験する自文化相対化と自己相対化のメカニズム
- Tou Shinran Attitudes of China-Born Chinese (CBC) Mothers Concerning In-Group Competition with Other CBC Mothers and Children

[短大卒業論文要旨]

- 綱 川 彩 聖地サンティアゴへの道——なぜ巡礼の旅に——

第 47 号 (平成 26 年)

[論文]

- 廣瀬友久 美術史序説——ロマン主義と遠近法——
 兵頭晴子 ‘The Happy Prince’ を読む
 小林昌夫 ^{シヤドローイング}外国語学習の審美的動機——音の意味②
 村上丘 文法範疇交替モデルの構築に向けて (3)
 伊東武彦 文法教育とディスコース
 Gordon Liversidge Changes in Social Class

[大学院生研究論文]

- 勝部愛美 ハイブリッド文法の構築へ向けて

[卒業論文要旨]

- 佐藤由麻 吉田都の演じるジュリエット
 小林優子 復讐者ハムレット——『スペインの悲劇』のヒエロオニ
 モと比較して
 石井絵里香 『サロメ』におけるファム・ファタール研究
 松岡美香 日本における『チャタレイ夫人の恋人』論争
 岩崎恵音 『蠅の王』における豚
 成田知華 エドガー・アラン・ポーの短編小説における天邪鬼精神
 福丸真衣子 “Aren't You Tired?”——映画『ヘルプ』における周縁者
 による挑戦と揺らぐ固定概念——
 田部めぐみ 英語の音表象
 駒井芹菜 日本語訛りの英語は日本人にとって分かりやすいか
 伊藤麻未 -ic/-ical を伴う類義的形容詞の連語関係
 Kano Maiko ‘Only a Little Useful’: Students’ Views of Teachers’ Use of
 Speaking Units

[短大卒業論文要旨]

- 熊谷 皐 古代ギリシアとボリス
 ——古代と近代を理解するヒント——

第48号(平成27年)

[論文]

- 兵 頭 晴 子 ジェイムズ朝における王室とベン・ジョンソンの仮面劇
との関係
- 廣 瀬 友 久 ロマン主義と世界史の展望
- 田 代 尚 路 変転する風景——テニスン「イノーニー」を読む
- 鈴 木 紀 子 「幻の映画」をめぐって——『大津波』日米合同映画製
作とパール・バック
- 小 林 昌 夫 絶対行感をめぐって——音の意味③
- 村 上 丘 文法範疇交替モデルの構築に向けて (4)
- 新 谷 敬 人 外国語訛りの英語音声におけるリズムの特徴
- 守 田 美 子 学習スキル養成に配慮した短大講義科目授業改善の試み

[修士論文要旨]

- 岡 里 恵 『冬物語』における擬似的な死と復活
- 渡 邊 万里子 児童英語教育における指導者の支援の新たな分類——
社会文化理論の視点から

[卒業論文要旨]

- 綱 川 彩 『じゃじゃ馬馴らし』におけるカタリーナの人間的成長
- 村 田 絢 香 『ロミオとジュリエット』におけるソネットと韻を踏む
詩行の効果
- 大 谷 遼 『狐になった人妻』——変身とアイデンティティ研究
- 太 田 実 佐 『ハリー・ポッター』における仲間の絆と愛
- 山 田 真 帆 秩序が求める劣性者——リチャード・ライト『アメリ
カの息子』における必要悪としての差別——
- 佐 藤 芙 美 『ベル・ジャー』における自殺の試み
- 萩 原 生 雨 直接話法における伝達動詞
- 田 上 恭 香 日英語母語話者による日本語訛り英語の理解度の違いに
ついて
- 並 木 紗 恵 推論発問と協同学習は読解をどう推進するか

[短大卒業論文要旨]

- 高 橋 胡 桃 William Wordsworth ——風景の中の子ども

- 高 梨 千 晴 『不思議の国のアリス』
——何故ノンセンス文学なのか?——
- 安 田 麗美香 モネ：光と時の中へ
——近代絵画を理解するヒント——
- 坂 井 遥 日本語における破擦音の習得について

第 49 号 (平成 28 年)

[論文]

- Tomohisa HIROSE An Essay: Romanticism and the Perspective of World
History
- 田 代 尚 路 「悪女」の類型——テニスンから漱石へ
- 小 林 昌 夫 変身小説の周辺——変身考②
- 石 木 利 明 原文の力——*Anne of Green Gables* (『赤毛のアン』) 冒
頭に学ぶ
- 河 野 武 Yes と No: 「<好ましさ>の期待」の充足・非充足
- 村 上 丘 道具と言葉
- 勝 部 愛 美 ハイブリッド文法——軽動詞 *give/take* の事例——
- 千 田 誠 二 CLT 時代の英語教育学研究に「質的な見方」が求めら
れる背景とはなにか

[修士論文要旨]

- 松 岡 美 香 1950 年代の英文学に見られる労働者像——Alan Sillitoe
と John Braine を中心として——

[卒業論文要旨]

- 岡 村 瑠 海 『ジェイン・エア』と女の幸福
- 渡 辺 実 果 『ハリー・ポッター』シリーズにおける変身
- 井 上 柚 香 「正義」の不正義
——アメリカ文学における歪んだ常識——
- 小 堀 麗 央 ギャツビーの「グレート」とは何か——ニック・キャ
ラウェイによるギャツビー像
- 川 上 優 香 英語におけるジョーク

- 大 栗 愛 美 日本語訛り英語の知覚における文脈への依存度 ——
ゲーティング課題を用いた調査 ——
- 小 泉 葵 物語タスクにおける発表語彙の提示方法
- Ikumi Uchijima Picture Brides' Life and Identity among Difficulties
- [短大卒業論文要旨]
- Iria Hirata *The Cat in the Hat: The Importance of Imagination*
- 浅 野 光 宗教改革 —— その歴史的意味 ——
- 鈴 木 綾 乃 英語教育において日本語話者が留意すべき発音指導

第 50 号（創設 50 周年特別記念号）（平成 29 年）

[論文]

- Tomohisa HIROSE Speculations upon Romanticism and Modern Science:
Newton, Kant, Coleridge and Wordsworth
- 大 木 ゆ み 創られた独裁者 —— プロパガンダの脅威 〈1〉
- 小 林 昌 夫 変身論におけるリンネと輪廻 —— 変身考③
- 田 口 孝 夫 北米日本人移民の架け橋 —— 伴新三郎小伝
- Takehiko Ito A Suitability Evaluation of Textbook Contexts Introducing
Grammar
- 新 谷 敬 人 留学は発音を良くするか? —— リズム特徴に基づく予備
的研究

[大学院生研究論文]

- Mayumi Sugiyama A Woman Called the “Female Mark Twain”: The Nature
of Marietta Holley's Humor

[卒業論文要旨]

- 永 井 彩 女 『ロミオとジュリエット』 —— 「名前を捨てる」というこ
との意味とは
- 鈴 木 愛 理 『フランケンシュタイン』における怪物とその創造者の
類似性について
- 船 引 麻 衣 ヘンリー・ジェイムズ『ねじの回転』における視点の技法
- 小 林 紗 良 幻想的エキゾチック —— アメリカ映画・歌劇に見る日
本人女性表象 ——

- 福嶋 菜月 導き手としてのシーモア・グラス
- 坂井 遥 Yes・No の機能とイントネーション
- 中山 真穂 英語における名詞の等位接続
- 小倉 綾夏 英語音声のバリエーションと理解度——方言と個人的
特徴が与える影響——
- 内田 真莉 中学生に対する音読・シャドーイング指導効果
- Kaori Tsukagoshi How English Ability and Experience Affect Effectiveness
of a Chunk Reading Ability

[短大卒業論文要旨]

- 佐々木 梨寧 アーサー王——その英雄性と現代——
- 加来 千明 *Notting Hill* にみるイギリス文化とアメリカ文化の違い